

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリー・ウィル・インフィニティー		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切にされている。	刺激の少ないシンプルな室内空間にしている。	継続していく。
2	子どもたちの表面的な課題行動だけではなく、なぜ課題となる行動をとってしまうのか？姿勢や手指の使い方、集中できない要素の有無等、身体的な要因の有無から掘り下げ課題行動となる原因を改善するよう支援している。	子どもたちの学習や遊びの場面において、安全確保だけではなく、体の動かし方や人との関わり方、コミュニケーションにおける言葉の選び方、相手の言葉の受け取り方等安全確保以外に子どもたちの本質を観察し、スタッフや保護者様と情報を共有するよう留意しています。	知り得た情報をもとに話し合い、改善すべき点や、改善するともっと楽しく過ごせるようになる等、常に改善に向けて意識できるよう心掛けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベントに参加することや子どもと関わる機会が少なかった。	地域のイベントが営業時間外に開催していることが多く、参加できなかった。	イベントの模索範囲を広げる。
2	各マニュアルの周知	周知する頻度や、実施方法に問題がある	周知する頻度や実施方法について見直しをお行う
3	保護者同士の交流機会が作られていないこと	保護者同士の交流の場や保護者会を行う機会を作れていない	保護者様がどのような形での交流会を望んでいるのか意見を聞き参考にする。